

3-1 愛情を伝える言葉かけ

すべての親は、子どもに愛情を注いでいることと思います。でも、日々の生活の中で、その思いが子どもに伝わっているのでしょうか。一緒に考えてみましょう。

ワーク1

次のような場面で、あなただったら、子どもにどんな言葉をかけますか。

- ① 休日、子どもが長時間スマホやゲームをしています。視力低下も心配です…



- ② 子どもが、なかなか帰って来ません。スマホに連絡してもつながらず、既読もつきません。そこへ近場での不審者情報のメールが入ってきました。心配でたまらなくなって、外へ出てみると「ただいま～」と子どもが帰ってきました。



ワーク2

お子さんへの愛情や心配な気持ちを伝えるために、どんな言葉かけをしたら良いのか、考えてみましょう。

子どもの話に耳を傾けていますか？

- 子どもの話になすきながら、最後まで話を聴き、子どもの気持ちを受け止めようとしていますか？



- 子どもは、親の愛を確かめたいとなると、「ねえ、ねえ」と話しかけてきます。話をゆっくり聴いてあげると、子どもは安心し、親との愛を深めます。
- 子どもは、話をしながら頭の中でいろいろ考え、思考力を深めています。話を聴いてあげることが教育ですが、話を聴くことも大事な教育です。

Point

- (1) 子どもが話をしている途中で、注意や教えをしてしまうと、子どもはそれ以上話せなくなってしまいます。子どもの話をうなすきながら聴きましょう。
- (2) 親は「何をしたか、どうしてか」と、事実や理由を聞きたがります。そのときのうれしい気持ちや、悔しい気持ちも聴いてあげましょう。

一方通行の言葉で話をしていませんか？

- 子どもがどのように考えているかを確認しながら、話をしていますか。



- 子どもと話をする場合、「それはどうしてかなあ」などと話が続くような質問をすると、子どもは喜んで話をしてくれます。
- 子どもとの会話は、親子が心を通い合わせるよい機会です。子どもは親と楽しく話ができるとき、子どもの心はうれしくなります。

Point

- (1) 親が自分の思いを一方的に話すのではなく、子どもがどのようなことを考えているのかを確認しながら、子どもの気持ちに寄り添って話をしましょう。
- (2) 子どもの興味に合わせて話をすることも大事ですが、親の子ども時代の話や失敗談、社会の出来事など、子どもの世界が広がる話もしてあげましょう。

3-2

おこづかい

お金の使い方は、大人になってからの物への価値観、人生観までに通じる大切なテーマです。お金とのより良い付き合い方を育てるために、子どものおこづかいについて、皆さんで考えてみましょう。

エピソード

良輔くんのお母さんは、最近の良輔くんのお金の使い方がとても気になっています。新しいゲームソフトを見つけると、すぐお父さんにおねだりして手に入れているようです。

「みんなは、いくらぐらいのおこづかいをどうやってもらっているのかしら？」とても気になります、誰に相談したらいいのか分かりません。

「毎日？毎週？毎月？それとも必要なときだけ？」

「使い道はどうしているのかしら？」



ワーク

あなたは子どもの頃、どのようにおこづかいをもらって、どのような使い方をしていましたか？

ワーク2

現在、あなたは、お子さんにどのようにおこづかいをあげていますか？
お子さんは、もらったおこづかいをどのように使っていますか？
また、その使い方について、気になることはありますか？

• おこづかい あげている（ 定期的に 必要なときに ） あげていない

• 子どものおこづかいの使い方は…

• おこづかいの使い方について、気になることは…



資料 1

出典：金融広報中央委員会

「子どものくらしとお金に関する調査」(第3回) 2015年度調査

◎おこづかいの金額

・最も多い回答(最頻値)は、「月に1回」もらう場合で500円、「ときどき」もらう場合で、低学年と中学年は100円、高学年は1,000円となっている。

| | | 最頻値 | 最も多い金額帯 | 次に多い金額帯 | 平均値 | 中央値 |
|------|-----|--------|---------------------------|---------------------------|--------|--------|
| 月に1度 | 低学年 | 500円 | 500～700円未満 (22.6%) | 100～200円未満 (16.5%) | 1,004円 | 500円 |
| | 中学年 | 500円 | 500～700円未満 (25.8%) | 1,000～1,500円未満 (18.9%) | 864円 | 500円 |
| | 高学年 | 500円 | 500～700円未満 (37.9%) | 1,000～1,500円未満 (29.5%) | 1,085円 | 1,000円 |
| ときどき | 低学年 | 100円 | 100～200円未満 (29.9%) | 100円未満(17.8%) | 1,004円 | 163円 |
| | 中学年 | 100円 | 100～200円未満 (24.2%) | 500～700円未満 (16.5%) | 923円 | 300円 |
| | 高学年 | 1,000円 | 1,000～1,500円 未満(23.5%) | 500～700円未満 (20.2%) | 1,246円 | 500円 |

(注 1) 最頻値は、最も多く回答された値。中央値は、回答金額を多い順に並べた場合に中位(真ん中)に位置する値。

(注 2) ()内は、当該金額帯の回答者の全体に占める割合。

◎おこづかいの使い方（学年段階別）

- おこづかいの使い方をみると、小学生低学年・中学年では「おかしやジュース」、「ゲームソフトやおもちゃ類」（低学年では「おもちゃなど」）、「ゲームをする」が上位にある。小学生高学年では「まんが」の順位が上がり、「ゲームソフトやおもちゃ類」と同程度となっている。

おこづかいの使い方（複数回答）ランキング

| 順位 | 小学生 | | |
|-----|----------------|---------------------|----------------------|
| | 低学年（8項目中） | 中学年（14項目中） | 高学年（16項目中） |
| 1位 | おかしやジュース（36） | おかしやジュース（42） | おかしやジュース（50） |
| 2位 | おもちゃなど（32） | ゲームソフトやおもちゃ類（35） | ゲームソフトやおもちゃ類（42） |
| 3位 | ゲームをする（32） | ゲームをする（32） | まんが（42） |
| 4位 | 家の人へのプレゼント（24） | ノートや鉛筆など（30） | 本や雑誌（34） |
| 5位 | ノートや鉛筆など（23） | まんが（29） | 家の人へのプレゼント（34） |
| 6位 | 本や雑誌（17） | 家の人へのプレゼント（29） | ゲームをする（33） |
| 7位 | まんが（14） | 本や雑誌（19） | ノートや鉛筆など（32） |
| 8位 | 友達へのプレゼント（13） | 友達へのプレゼント（19） | 友達へのプレゼント（31） |
| 9位 | — | 休みの日に遊びに行くときの交通費（6） | 友達との食事・おやつ代（29） |
| 10位 | — | アクセサリや化粧品など（5） | 休みの日に遊びに行くときの交通費（13） |

（注 1）（ ）内は、当該項目の回答者の全体に占める割合、%（小数点以下四捨五入）。

◎「おこづかい帳」

- 「おこづかい帳」をつけているのは、小学生で2割前後、中学生で約2割、高校生で2割弱となっている。
- お小遣い帳を「使ったその日のうちに必ずつける」、「1週間ごとなどに定期的につける」との回答者は、「毎週・毎月など定期的に同じ金額を貯めている」、「金額は毎回同じでないが、定期的に貯めている」との回答割合が高くなっている。

3-3 もうすぐ中学生

まだまだ幼いと思っていた小学校入学式から今日までをふりかえると、いろいろな想いが湧いてくることでしょう。今までは小学生の親で良かったのですが、子どもが中学生になると同時に、親も「中学生の親」に成長しなければなりません。

新しい生活には心配もあるかもしれませんが、子どもの「生きる力を育む」ために、親として、どう進化すべきか？ 皆さんで考えてみましょう。

エピソード

ちょっと大きめの制服を嬉しそうに試着する孝太郎くん。それを見守るお父さんとお母さん。でも、なぜだか孝太郎くんの姿がちょっと頼りなさそうにお母さんの目には映ります。

「あの頃の私はもっとしっかりしていたはず…」と心の中でつぶやきました。

中学校の制服、校舎、先生、友達、4月からはどんな生活が待っているのでしょうか。子どもの成長を嬉しく感じる一方で、お母さんは何だか不安になってきました。



ワーク1

お子さんの中学校生活について、気になることや心配なことはありますか？

ワーク2

あなたが中学生の頃は、どうでしたか？

(友だち、勉強、部活、恋、親との関係、楽しかったこと、辛かったことなど)

ワーク3

あなたは、心も体も大人になっていく多感な中学生時代のわが子に寄り添い、
生きる力を育むために、どのような親になりたいと思いますか？

資料 1

茨城県教育委員会発行 「平成 30 年度 家庭教育ブック つばさ P11 」より転載

小学校後半ぐらいから、子どもは急に外の世界へ目を向け、成長していきます。本来喜ばしいことなのですが、親はその変化に驚き、戸惑うことも多いでしょう。子どもを育てる歳月の中には、どんよりと曇った日もどしゃ降りの日もあるでしょう。でも、やまない雨はありません。そのうち、きらきらと輝く太陽が顔をのぞかせるでしょう。

子どもが「可能性」というしっかりとした「つばさ」を広げ、社会という大きな青空に向かって羽ばたいていくまで、共に成長する気持ちでゆっくりとゆったりと見守っていきましょう。

資料 2

☆小中学校の生活の変化（平日の一例）☆

【小学校】

6:30 7:45 8:30 15:30 17:00 19:00 20:00 21:30

| | | | | | | | | | |
|----|----------|----|-----|--------|--------|----------|----------|-----|----|
| 睡眠 | 起床 朝食 | 登校 | 学 校 | 下 校 | 遊 び | 家庭 学習 | 夕食 入浴 | 団らん | 睡眠 |
|----|----------|----|-----|--------|--------|----------|----------|-----|----|

【中学校】

6:30 7:00 8:00 16:00 18:00 19:00 20:00 22:00

| | | | | | | | | |
|----|----------|----|-----|-----|--------|----------|--------------|----|
| 睡眠 | 起床 朝食 | 登校 | 学 校 | 部活動 | 下 校 | 夕食 入浴 | 家庭学習 ・団らん | 睡眠 |
|----|----------|----|-----|-----|--------|----------|--------------|----|

生活の変化

【授業時間】 小学校 45分間 → 中学校 50分間 【教科担任制】

【中学校から始まる教科】 数学、保健体育、美術、技術・家庭

【家庭学習、定期テスト対策、宿題や課題の出され方】

【部活動】 土日、夕方の練習 【自転車通学】 【制服】

【テスト】 中間テスト、期末テスト、学力診断テスト